

平成 27 年 度

小学校教員資格認定試験

教職に関する科目 (Ⅱ)

音 楽

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験実施大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 実施大学名、氏名、受験番号、受験科目を平成 27 年度「幼稚園・小学校教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。  
ただし、受験科目のマークについては、小学校の欄にマークしてください。
4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるの  
で注意してください。
5. 解答は、すべて解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。  
訂正する時は、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。  
解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出て  
ください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 50 分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。 (よい例) ●
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例) ⊕ ⊗ ⊖ ⊙

※ 以下の問いにおいて、『小学校学習指導要領』とは『小学校学習指導要領』（平成 20 年文部科学省告示第 27 号）第 2 章 第 6 節 音楽を言う。

問 1 次の文は『小学校学習指導要領』の「第 1 目標」に示されているものである。空欄（ ）に当てはまる語句を、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の（ ）を培い、豊かな情操を養う。

ア 基礎的な能力    イ 創造的な能力    ウ 基礎的な技能    エ 豊かな表現力

問 2 次の文は『小学校学習指導要領』の「第 2 各学年の目標及び内容」〔第 3 学年及び第 4 学年〕の「1 目標」〔2〕に示されているものである。空欄（ ）に当てはまる語句を、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを（ ）ようにする。

ア 深める            イ 感じ取る            ウ 高める            エ 味わう

問 3 次の文は『小学校学習指導要領』の「第 2 各学年の目標及び内容」〔第 3 学年及び第 4 学年〕の「2 内容」〔A 表現〕〔2〕のエに示されているものである。空欄（ ）に当てはまる語句を、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

互いの楽器の音や（ ），伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。

ア 全体の響き    イ 和声の響き    ウ 音階や調    エ 副次的な旋律

問 4 『小学校学習指導要領』の「第2 各学年の目標及び内容」〔第5学年及び第6学年〕の「2 内容」〔A 表現〕(3)のイに示されているものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、様々な発想をもって音楽をつくること。
- イ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、様々な発想をもって即興的に表現すること。
- ウ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、見通しをもって音楽をつくること。
- エ 音を音楽に構成する過程を楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって音楽をつくること。

問 5 次の文は『小学校学習指導要領』の「第2 各学年の目標及び内容」〔第1学年及び第2学年〕の「2 内容」〔B 鑑賞〕(1)のウに示されているものである。空欄( ① )と( ② )に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを( ① )で表すなどして、楽曲や演奏の( ② )に気付くこと。

- |       |       |
|-------|-------|
| ( ① ) | ( ② ) |
| ア 言葉  | 楽しさ   |
| イ 音   | 美しさ   |
| ウ 言葉  | よさ    |
| エ 音   | 面白さ   |

問 6 次の楽曲は『小学校学習指導要領』の「第2 各学年の目標及び内容」の「2 内容」の「A 表現」に示されている共通教材である。このうち〔第2学年〕の楽曲はどれか、正しいものを次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 春がきた      イ うみ      ウ 春の小川      エ かたつむり

問 7 次の文は『小学校学習指導要領』の「第 2 各学年の目標及び内容」〔第 5 学年及び第 6 学年〕の「2 内容」〔共通事項〕(1)のアの(ア)に示されているものである。空欄( )に当てはまる語句を、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なりや和声の響き、( )、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素

ア 拍子

イ 音階や調

ウ 和音

エ 旋律の重なりや和音の響き

問 8 次の文は『小学校学習指導要領』の「第 3 指導計画の作成と内容の取扱い」2の(4)のアに示されているものである。空欄( )に当てはまる語句を、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

各学年で取り上げる打楽器は、木琴、鉄琴、和楽器、諸外国に伝わる様々な楽器を含めて、( )、学校や児童の実態を考慮して選択すること。

ア 演奏の方法

イ 楽器の取扱い方

ウ 演奏の効果

エ 音色の違い

問 9 次の文は『小学校学習指導要領』の「第 3 指導計画の作成と内容の取扱い」2の(4)のエに示されているものである。空欄( )に当てはまる語句を、下のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

第 5 学年及び第 6 学年で取り上げる旋律楽器は、既習の楽器を含めて、電子楽器、和楽器、( )などの中から学校や児童の実態を考慮して選択すること。

ア 打楽器

イ 鍵盤楽器

ウ 郷土に伝わる楽器

エ 諸外国に伝わる楽器

問10 『小学校学習指導要領』の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」2の(6)において取り扱う「音符、休符、記号や音楽にかかわる用語」に示されていないものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア Moderato      イ 五線と加線      ウ ♭      エ ♪

問11 ト長調のV度調(属調)の平行調を、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア ロ短調      イ へ長調      ウ ニ長調      エ ホ短調

問12 楽語とその意味の組合せとして正しくないものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア ritardando …… しだいに遅く  
イ dolce …… 悲しげに  
ウ a tempo …… もとの速さで  
エ cantabile …… 歌うように

問13 作曲家とその特色の組合せとして正しくないものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア J. ケージ …… 偶然性の音楽  
イ A. シェーンベルク …… 12音技法  
ウ I. ストラヴィンスキー …… 原始主義  
エ B. バルトーク …… 印象主義

問14 曲名と作曲者の組合せとして正しくないものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 《ふるさと》…………… 岡野貞一
- イ 《荒城の月》…………… 山田耕作
- ウ 組曲《くるみ割り人形》…………… P. I. チャイコフスキー
- エ 組曲《動物の謝肉祭》から「白鳥」…………… C. サン・サーンス

問15 次のアからエの楽器の中から、木管楽器でないものを一つ選んで記号で答えなさい。

- ア トロンボーン
- イ イングリッシュホルン
- ウ クラリネット
- エ フルート

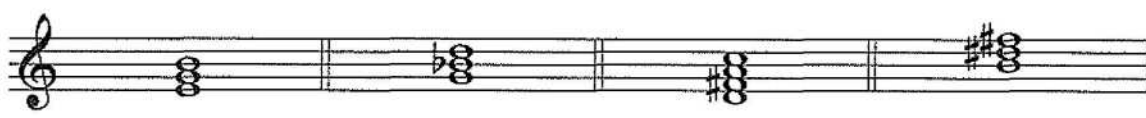
問16 次のアからエの中から旋律短音階(上行形)を一つ選んで記号で答えなさい。

問17 次の楽譜は、第2学年の歌唱教材《夕やけこやけ》のピアノ伴奏の一部である。左手の伴奏部が右手の旋律部分に対し適当でない小節を、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

問18 次のオペラの組合せの中で、二つともモーツァルトが作曲した組合せを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 《ドン・ジョバンニ》, 《ドン・カルロ》
- イ 《フィガロの結婚》, 《魔笛》
- ウ 《コジ・ファン・トゥッテ》, 《カルメン》
- エ 《皇帝ティートの慈悲》, 《デイドとエネアス》

問19 和音とコードネームが一致していないものを、次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア	イ	ウ	エ
			
E	Gm	D7	B

問20 オペラ、オラトリオ、カンタータなどに現れ、普通の話し方や演説などを模倣したり強調したりするように作られた歌を何というか。次のアからエの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア バッソ・コンティヌオ
- イ カヴァティーナ
- ウ アリエッタ
- エ レチタティーヴォ